

[参考資料]

清須市第一次総合計画
に対するご意見

平成23年12月

清 須 市

目 次

1. 現行計画策定の趣旨	1
2. 総合計画の構成・計画期間	2
3. 前期計画の進捗状況について	3
施策指針1 安全・安心で自然が息づくまちづくり	4
施策指針2 健康で思いやりあふれるまちづくり	20
施策指針3 便利で快適に暮らせるまちづくり	42
施策指針4 歴史・伝統・文化・教育を大切にするまちづくり	56
施策指針5 創造的にいきいきと働くことのできるまちづくり	70
施策指針6 参加と交流のまちづくり	78
施策指針7 新しい時代に対応できるまちづくり	84

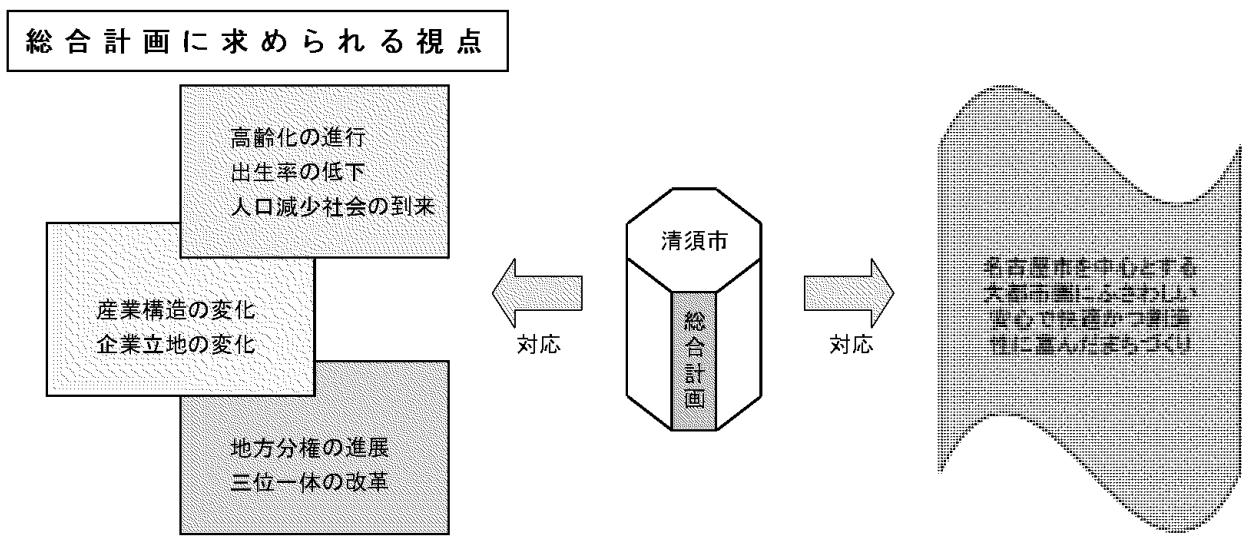
1 現行計画策定の趣旨

現在、本市を取り巻く環境は、激変しております。社会動向をみると、高齢化の進行、出生率の低下などによりこれまでわが国が経験したことのない人口減少社会が到来しています。また、経済のグローバル化に伴い産業構造は大きく変化し、企業立地も大きく変化しつつあります。そしてこれらの変化のスピードはますます速くなり、これに対応していくことは容易なことではありません。

こうした大変動の中、西枇杷島町・清洲町・新川町は平成 17 年 7 月 7 日に合併し清須市が誕生しました。その後、平成 21 年 10 月 1 日には春日町と合併し、現在の清須市に至っております。2 度の市町村合併の背景には、地方分権から地域主権改革へと至る基礎自治体としての役割の拡大に的確に対応するとともに、名古屋市を中心とする大都市圏にふさわしい、安心して快適かつ創造性に富んだまちをつくることを目指した行政体制の再構築があります。

この清須市が大きな変化と改革の流れの中で、市民の暮らしを支え、まちの活力を維持していくためには、旧 4 町の施策を継承するのみならず、合併時の「新市建設計画」、「新市基本計画」を尊重しながら、行政体制の変革と行政施策・事業のより一層の重点化を図り、真に必要な施策に行政資源を投入するといった大胆な改革が欠かせない状況となっています。

こうした点を踏まえ、清須市における平成 19 年度から 10 年間の行政運営の基本的な指針として「清須市総合計画」を定め、厳しい状況に対応した行政施策のあり方を明らかにするとともに、この計画に基づく着実な行政運営を行っています。



2 総合計画の構成・計画期間

本計画は基本構想・基本計画によって構成します。総合計画の計画期間は平成19年度から平成28年度までの10年間としております。

(1) 基本構想

基本構想は、今後の清須市の方向性を示すもので、市の「基本理念」と「将来像」を定め、これを反映させるための今後の「行政運営の方針」と「施策の展開方向」を記述しています。その上で「施策の指針」を定め、分野別の施策の方向を明らかにしています。

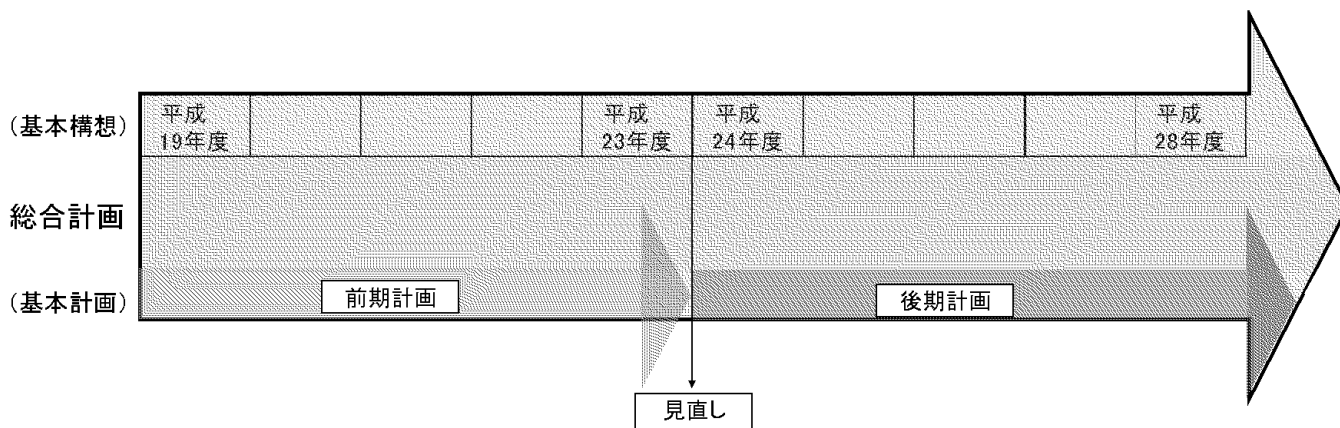
(2) 基本計画

基本計画は、基本構想に示された「行政運営の方針」、「施策の展開方向」及び「施策の指針」を踏まえ、市の「現状と将来見通し」を示した上で、「土地利用方針」と今後実施していく「施策の概要」について記述しています。「施策の概要」では、基本構想に示された「施策の指針」にしたがって、個別の施策・事業の内容を体系的に示しています。

(3) 基本構想、基本計画の見直し

基本計画の計画期間は平成19年度から平成28年度までの10年間としますが、前半5年を前期、後半5年を後期と位置づけ、社会情勢の変化に対応するため、前期の経過時点（平成23年度）を目途に計画を見直すこととしており、基本構想、基本計画の見直しに着手しております。

総合計画の構成



3 前期計画への評価等について

前期計画の評価等につきましては、7つの施策指針ごとに主要施策36項目の市民満足度調査結果に基づき下記のとおり記載しております。

1. 主要施策について

施策の内容及び事業名について記載しております。

2. 市民満足度調査結果について

平成20年度及び平成22年度に実施した市民満足度調査結果を、市民の皆様の評価の結果として掲載しております。

(1) 市民満足度調査の概要

項目	第1回 平成20年度	第2回 平成22年度
調査票送付数	4,000 通	4,500 通
有効回収数	1,672 通	1,808 通
回収率	41.8%	40.2%






(2) 調査結果の見方

① グラフ

第2回（上段）・第1回（下段）市民満足度調査の結果を示しています。

② 第1回・第2回の調査結果増加ポイント順位

「前回調査からの満足度(重要度)増加ポイント数」は下記により得点化した上で、前回結果と比較し、満足度・重要度のポイントの増加数が全36項目中何番目に上昇したのかを示します。

グラフ色	満足度回答項目	重要度回答項目	得点
	満足している	重要である	5点
	やや満足している	やや重要である	2点
	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0点
	やや不満である	あまり重要ではない	-2点
	不満である	重要ではない	-5点

③ 主な回答理由について

回答理由項目	主な回答理由等
主な回答理由を項目ごとに分類し記載して	記載された回答理由項目のうち、代表的な内容を記載しています。

(3) 所見

過去2回の市民満足度調査結果に関する所見を掲載しております。

施策指針 1 安全・安心で自然が息づくまちづくり

清須市は平成 12 年の東海豪雨から、基盤整備を通じた対策が極めて重要であるという貴重な教訓を得ました。今後とも河川管理の徹底と排水の適正化をはじめとする防災基盤の充実に努める必要があります、これは市の第一の政策課題といっても過言ではありません。防災基盤の整備と消防救急体制の充実による安全・安心が清須市のまちづくりの第一歩ともいえます。

これとともに、多発する犯罪から市民を守り、また自動車交通などから歩行者を守るために、防犯・交通安全の取組みが欠かせません。

さらに、上水道・下水道の充実やごみ処理体制の整備、広域的な火葬施設の整備によって、名古屋大都市圏にふさわしい都市基盤の確立を図り、水やゴミなどに関して生活の憂いがない条件を整える必要があります。このような問題意識のもとで下記の施策を推進し、これを通じて「安全・安心で自然が息づくまちづくり」に取り組んでいます。

○ 施策指針 1 に基づく主要施策

- 1 河川・排水対策の充実**
- 2 防災対策の充実**
- 3 防犯・交通安全対策の充実**
- 4 消防・救急体制の充実**
- 5 上水道・下水道の充実**
- 6 ごみ処理体制の充実**
- 7 火葬施設・墓地の充実**

1 河川・排水対策の充実

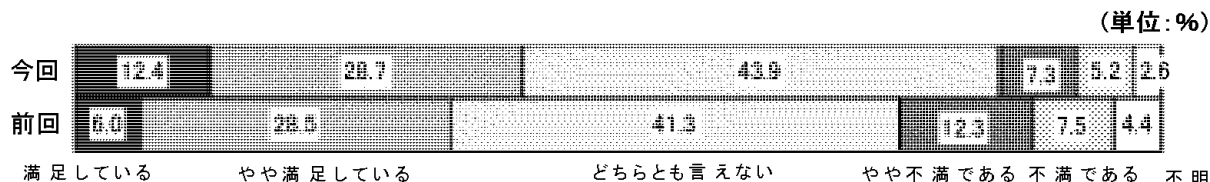
平成12年9月の東海豪雨水害の教訓を踏まえ、関係機関と連携して危機管理体制の充実を図るなど総合的な治水対策に取り組みます。また、大雨等による水量の急増に的確に対応できるよう、都市下水路や各地域のポンプ場などを計画的に整備します。あわせて、河川への流出抑制や内水氾濫による被害の軽減を図るため、雨水貯留施設を計画的に整備するとともに民間に対しても積極的に奨励していきます。

《主な事業》

- 貯留池ポンプ管理事業
- 新川流域総合治水対策事業【広域的事業（国・県・流域市町）】
- 雨水浸透枡・貯留槽設置補助事業
- 都市下水路等維持管理事業
- 都市下水路整備事業【広域的事業（国・県）】
- 河川改修促進事業（特定構造物改築事業等）【広域的事業（国・県）】

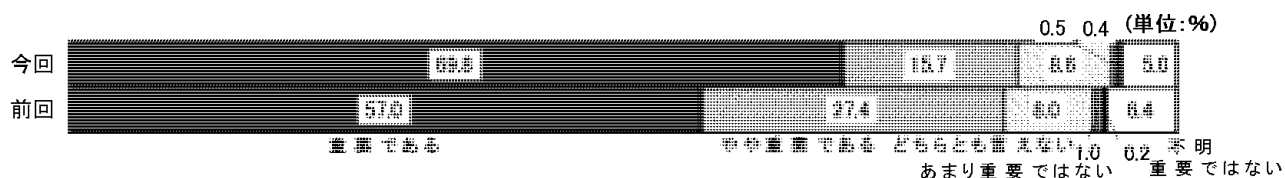
(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 10 / 36位)

② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 30 / 36位)

(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
各種水害対策の推進	集中豪雨が増えているが、東海豪雨のような被害が発生しないよう最大限の対策を推進してほしい。
浸水被害再発の不安	集中豪雨が多く、上昇した川の水位を見ると不安になる。
河川・排水施設整備等の推進	ゲリラ豪雨にも対応できるように河川や排水路の整備を進めてほしい。 五条川・新川が氾濫しないような対策を。
現状の対策に対する疑問・不安	現在進めている水害対策がどの程度効果があり、どの程度進んでいるのかわからない。
用水路・側溝の問題と対応	側溝の整備や清掃が不十分なため、雨が降るとすぐに道路の水が溢れてしまう。
雨水貯留池・ポンプ場の整備・管理	雨水貯留槽を各地に配置するとともに、ポンプの保守・点検をしっかりとしてほしい。
現状の対策を評価	東海豪雨の教訓を生かし、水害対策に取り組んでいる。

(3) 所見

清須市内は、平成 12 年の東海豪雨により甚大な被害を受けており、水害に対する意識が非常に高く、前回調査と同様に、36 項目の中で重要度のポイントが最も高くなっている。

満足度については、「満足である」との回答割合が前回調査の 2 倍になっており、その理由として「東海豪雨を経験し、色々な対策はありがたい」「河川整備が進展した」との施策の進展を評価する意見がみられた。

一方、近年の集中豪雨の増加等による、浸水・冠水被害発生や現状の対策の効果に対する不安から、「河川・排水施設整備等の対策の推進」に関する意見が多く寄せられている。

満足度は高くなっているものの、引き続き各種水害対策の充実を求める意見が寄せられている。

2 防災対策の充実

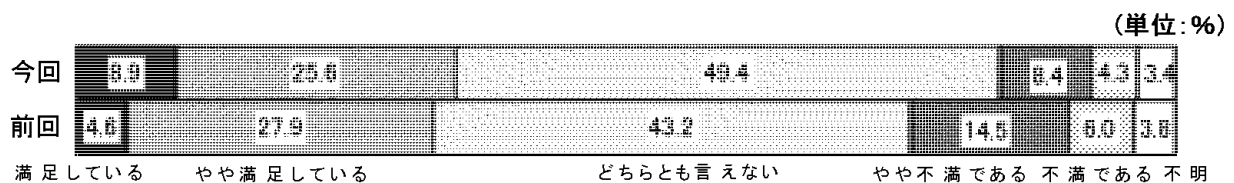
水害や発生が懸念される東海・東南海・南海地震などの災害発生時に的確な対応が取れるよう、地域防災計画に基づく防災基盤の整備や市民と連携した防災対策の充実を図ります。

《主な事業内容》

- 木造住宅耐震診断補助事業
- 木造住宅耐震改修補助事業
- 防災行政無線管理事業
- 防災行政無線改修事業
- 水防対策事業
- 地震・洪水ハザードマップ作成等委託事業
- 防災訓練事業
- 自主防災活動支援事業
- 災害対策事業
- 新川ふれあい防災センター管理事業
- 庄内川水防センター管理事業
- 防災拠点施設改修事業
- 災害時要援護者登録台帳作成事業

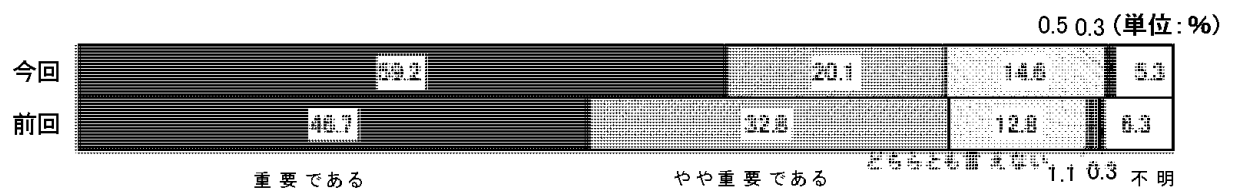
(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 16 / 36位)

② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 31 / 36位)

(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
防災無線の改善	防災無線が聞き取りにくい。 放送がこだまして聞こえない。
災害時の懸念・対策の不满	高齢者への対応は安心できるものなのか。 避難場所は被災者を受け入れる準備が整っているのか。
木造住宅等の建物の耐震改修への要望	耐震改修などはお金がかかり過ぎる。 改修しやすくなるように補助金を拡充してほしい。
防災対策の提案・推進	自主防災活動の支援が重要である。 各家庭への通信、通達手段を検討すべき。
広報の充実	市からの防災案内が伝わりにくい。 いろいろな警報が発令されるが、その都度どう動けばいいのかわからない。
防災訓練の実施 (現状、要望)	防災訓練への住民の参加意識・参加率が低い。 市民が参加しやすい防災訓練を望む。
現状の防災対策に満足	有線広報の効果があり、どんどん活用して下さい。 防災対策の充実が図られている。

(3) 所見

本施策項目に関しても市民の防災意識の高さが反映されており、重要度のポイントは36項目中4番目の高さとなっている。

満足度は前回調査より高くなっているものの、施策への具体的な意見が多くなっている。

防災無線に関して、多くの意見が寄せられており「防災無線が聞き取りにくい」「放送がこだまして聞こえない」といった改善を求める意見が多い。防災対策において重要な伝達手段に関する要望であり、対策を求める意見が寄せられている。

3 防犯・交通安全対策の充実

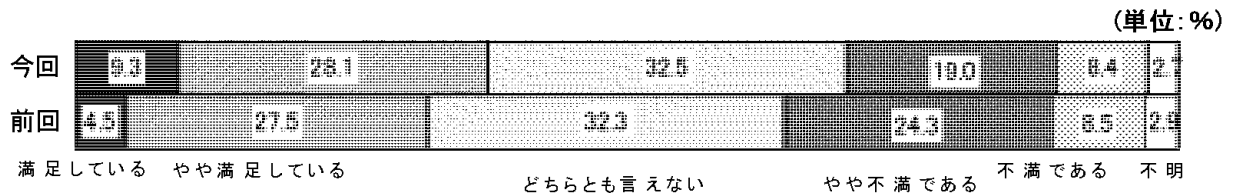
犯罪の抑止を図るために、警察などの関係機関や市民との連携のもとで防犯対策の充実を図ります。さらに、交通事故等の発生を抑制するために、関係機関と連携し、交通安全意識の啓発に努めます。

《主な事業内容》

- 防犯協会等補助事業
- 街路灯管理事業
- 街路灯整備事業
- 交通安全運動事業<交通安全運動費・報酬等>
- 通学路交通安全推進事業
- 交通安全補助事業
- 放置自転車等対策事業
- 交通災害共済事業

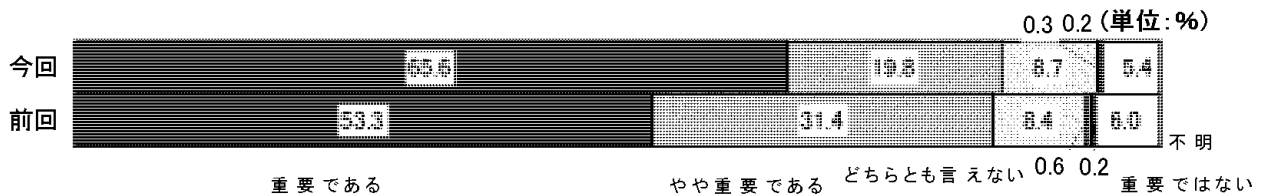
(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 17 / 36位)

② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 27 / 36位) 重要ではない

(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
街路灯、防犯等の整備	街路灯の少ない個所があり、子どもの登下校がとても心配だ。街路灯がきれてそのままの状態となっている。
防犯・交通安全対策の提案、要望	街路灯、信号、ミラーの整備をしてほしい。曲がり角が見にくい。 通学路へのガードレール設置、一方通行等の対応を進めてほしい。
通学路、夜間のパトロールの実施	パトロール巡回を見かける回数は少ない。 夜間や下校時のパトロールも強化してほしい。
実際に発生した事故、被害	空き巣、車上荒らしなど犯罪が増加している。 毎日のようにひどい事件や事故があり、子育てに不安がある。
不審者情報への対応	不審者情報が多い。 不審者への早急な対応を心掛けてほしいです。
警察への要望	清洲駅にあった警察の施設が無くなってから、駅周辺の治安が悪くなった。 交差点の一時停止の取り締まりの強化を。
路上駐車対策の充実	路上駐車が多い。 事故の原因にもなる為、もっと取り締まりをしっかりとやってほしい。

(3) 所見

満足度は上昇しているものの、36項目中30位と低く留まっている。対照的に重要度は36項目中2番目に高く、この傾向は前回調査と同様であり、治安の悪化を感じている市民が多いと考えられる。回答理由の記載は36項目中最も多く、その内容も多岐に渡っている。「街路灯の増設・維持管理の徹底」や「パトロールの強化」といった防犯対策を求める意見や、空き巣・車上荒らし等の身近な犯罪の増加に対する不安等が多く寄せられている。また、「通学路の交通安全対策」「違法駐車対策」を求める意見も多く、警察と連携した防犯・交通安全対策の充実を求める意見も寄せられている。

4 消防・救急体制の充実

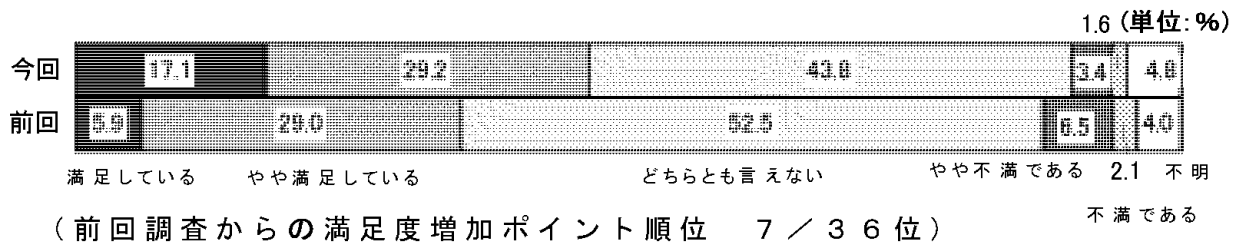
火災発生時に迅速な対応が取れるよう消防施設や車両などの充実を図るとともに、救急患者を迅速に搬送できるよう、救急体制の充実を図ります。

《主な事業内容》

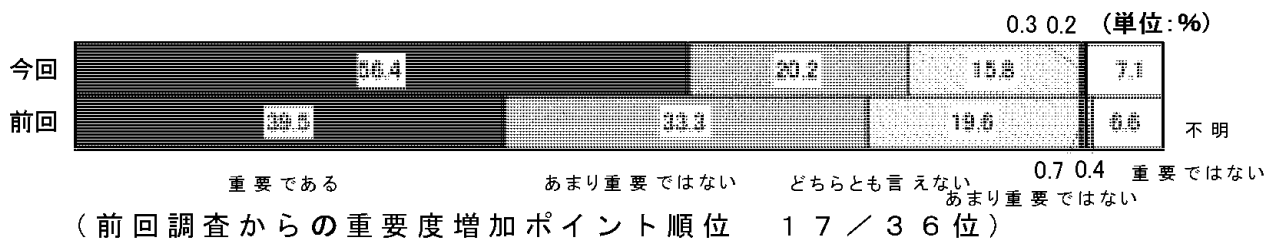
- 西春日井広域事務組合負担金
- 消防団活動支援事業
- 消防団員退職報償事業
- 消防団員福利厚生助成事業
- 消防車両整備事業
- 消防施設管理事業

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
消防車・救急車の 出動・到着	道路が狭く救急車等が入れない所が多い。 違法駐車、渋滞等により消防車・救急車が早く現場に到着できない。
消防体制について	消火用水槽及び消火栓の点検が不十分。 夜中のサイレン・警報にもう少し配慮を。 消防による点検や消防車によるパトロールは効果がある。
消防団について	消防団の活動には感謝。 消防団のなり手の不足、組織の硬直化など見直しが必要。 消防団よりも消防署の強化の方が重要。
救急体制について	近くに救急病院がなく受入れ病院に不安。 救急車の台数は大丈夫か、タクシー代わりに使われていないか。 市民一人一人の救急時の役割分担も必要。
現状の対策を評価	当面の対策は満足、このまま続けて欲しい。 すぐに対応されて安心感がある。
情報不足・現状が不明	どのような活動、どのような充実を図っているかわからない。 実際に体験したことが無いためわからない。

(3) 所見

満足度については大幅に上昇し、36項目中2番目に高く、消防団の活動を始め現行の施策を評価する回答理由が多くみられた。

一方、「道路が狭く救急車等が入れない所が多い」「近くに救急病院がなく受入れ病院に不安」といった有事の際の不安を訴える意見も多く、引き続き消防・救急体制の強化を求める意見もある。

5 上水道・下水道の充実

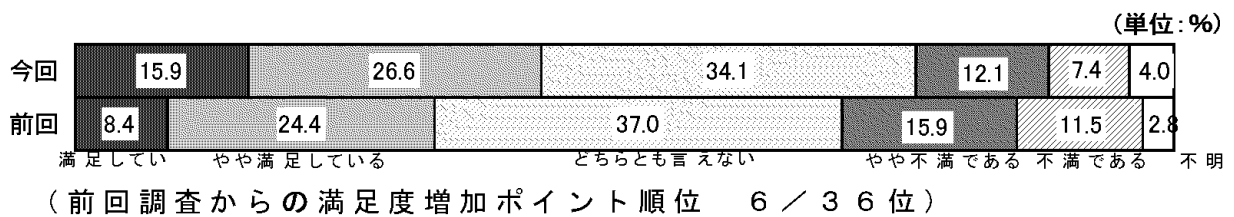
市民が安心して飲める水を供給するために、関係機関と連携し、上水道の充実に努めます。また、雨水の排除と生活排水を適切に処理し、快適で清潔な生活環境を実現するために下水道の計画的な整備に取り組みます。

《主な事業内容》

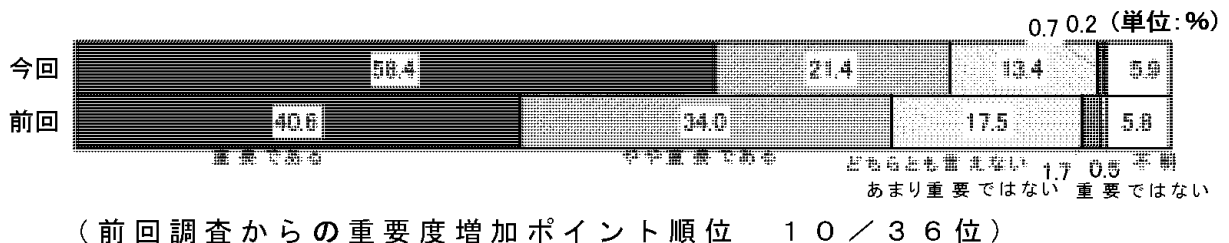
- 名古屋市上下水道局水源施設負担金
- 下水道事業特別会計繰出金
- 下水道事業特別会計繰出金

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
下水道の整備促進	下水道整備が遅れており早急に整備すべき。 地域間の下水道整備に不公平感がある。
排水、側溝の問題点	生活排水の処理が不十分。 生活排水がヘドロ状になり悪臭を放っている。 雨水排水が不十分。
下水道整備への懸念・疑問	各家庭への多額の費用負担が心配、補助はあるのか。 ほとんどの家で浄化槽があり、借金してまで下水道の整備が必要か。 下水道で水道料金が上がるのでは。
上水道の水質等	時期によって、水道水に薬品臭の強い時がある。 水が臭いので飲める水道水に。 安心して飲める水は何より大切。
下水道整備計画の開示	計画の進み具合が不明。 今後の整備予定を具体的に知りたい。

(3) 所見

満足度の前回調査との比較では、ポイントが大幅に上昇し、今回調査では36項目の平均を上回る満足度となっている。下水道事業の進展が評価された結果と思われる。回答理由についても、下水道に関する意見が多く、「地域間の下水道整備に不公平感がある」「生活排水の処理が不十分」といった早期の下水道整備を求める意見が多数を占めた。

一方で、「各家庭への多額の費用負担が心配」「借金してまで下水道の整備が必要か」といった下水道整備への懸念・疑問や「計画の進み具合が不明」といった情報提供を求める意見も寄せられている。

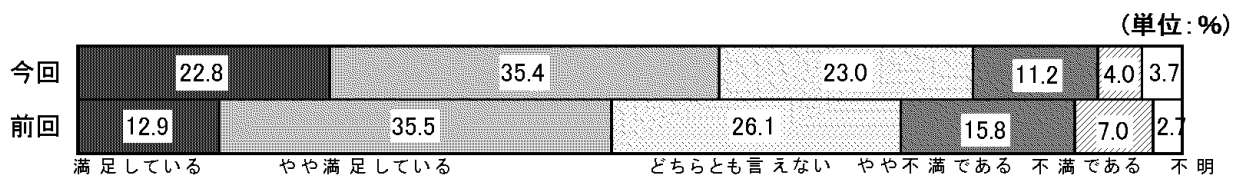
6 ごみ処理体制の充実

市内から発生するごみを適切に処理するため、ごみの収集から処分までのごみ処理体制の充実を図ります。また、環境保全の観点からごみの発生抑止に努め、ごみの減量化や資源の再利用の促進に努めます。

《主な事業内容》

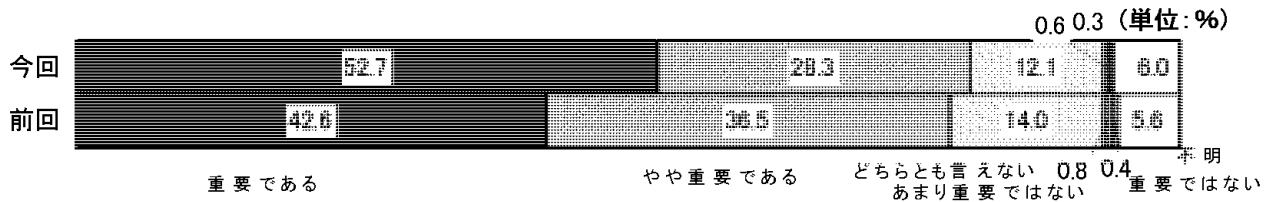
(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 3 / 36位)

② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 29 / 36位)

(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
回収日・場所・時間・回数の改善	プラスチック、不燃ごみ回収等の回数を増やしてほしい。 収集の時間が遅い。
ごみの分別について	ごみの分別意識が浸透していない。分別が細分化されて戸惑っている。 プラスチックごみは分別する必要があるのか。
現状の対策を評価	リサイクルステーションが土日関係なく利用できるのは良い。 ごみ収集が増えて感謝している。 プラスチックリサイクルはごみ減量になっている。
ごみ袋の改善	プラスチックごみの袋にも、大中小を用意して欲しい。 袋のサイズを何種類かにしてほしい。
粗大ごみ、リサイクルの方法・料金等	粗大ごみの料金が安い。有料でいいので引き取りだけでなく、直接持ち込みできる仕組みがほしい。トレー等は何故リサイクルしないのか。
ごみ回収後のリサイクル情報の開示	分別したごみがどのようにリサイクルされているのか公表してほしい。 どのように資源に再利用がされているか広報で教えて欲しい。
ごみ出しのマナー	マンションのごみ出しはルールが守られていない。 指定日以外にごみが出され放置されている。
し尿処理について	し尿処理を早く、処理車の配車が非効率。 浄化槽の管理の費用が高すぎる、法定点検なんて要らない。

(3) 所見

満足度の前回調査との比較では、ポイントが大幅に上昇し、今回調査では36項目の中で最も高い満足度となっている。リサイクルステーションの設置やプラスチックの資源回収などが満足度の上昇につながっていると思われる。

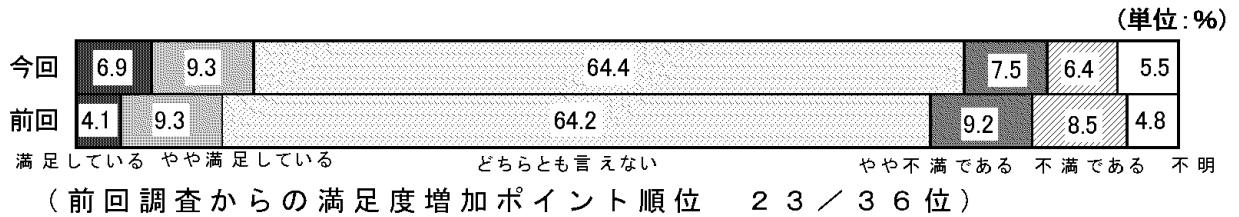
一方、「ごみの分別がまだ徹底されていない」といった市民の意識の問題に関する回答理由も多く、「ごみの回収回数の増加」や「ごみ袋の種類の細分化を求める」等、さらなる市のごみ処理体制への要望に関する回答理由も多くみられた。

7 火葬施設・墓地の充実

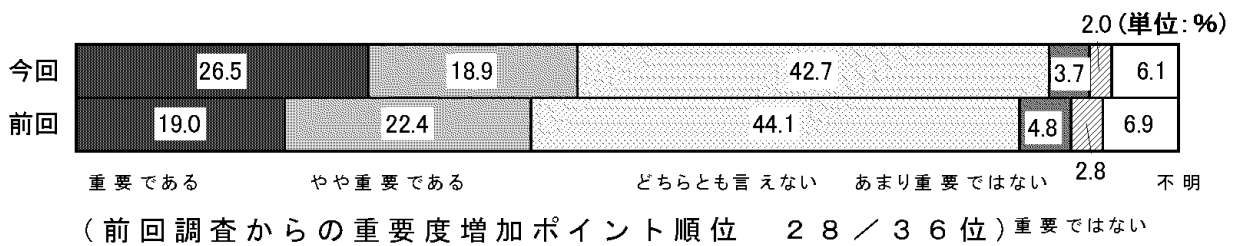
広域的な連携のもと火葬施設の整備に努めます。

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
火葬施設の整備 (肯定的)	火葬場が遠いので早く整備を。 火葬施設は難しい計画であるが必要である。 高齢化社会で火葬が多くなるため是非整備を。
火葬施設・市営墓地に関する広報の充実	火葬場と市営墓地がどこにあるのか分からない。 火葬施設の建設計画が進んでいるのかわからない。
火葬施設の整備 (否定的)	火葬施設計画は断固反対。 住宅地域、商店街地域が多い市内での設置は反対。
市営墓地に対する要望	市営墓地をもっと増やしてほしい。 市民が平等に使用できる事を望む。
火葬施設に対する要望	火葬施設があればいいと思いますが、周囲の意見もよく聞いてほしい。 将来を考えた建設を前提として活動すべき。

(3) 所見

前回調査と同様に、満足度・重要度ともに低い水準に留まっている。

火葬施設については、その必要性は認識されているものの、早期の整備を求める意見、市内への整備に反対する意見、整備が進まないことに対する不満等、施策に対する評価が様々であったことが要因と考えられる。

また、「火葬場と市営墓地がどこにあるのか分からない」という意見にみられるように、日常的に頻繁に利用する施設ではないため認知度が低くなっていることも、満足度・重要度が低水準に留まっている要因とも考えられる。